

種郵便物認可)

——神も人間も地域の力を感じる世界——
「ヨーロッパ」が失った日本に帰るべきだと思いま
本人は、21世紀のいじめか
のをひきのせまつてくわびよ
うどじゅうら。
梅原さん、問題でんか
にいたるやうじゅ。森々無
たりのこころなれりけん
あいたた神様、多いが自然
の神様、森の神様、海の
神様。これをすべて殺し
てこぼこ、そして天皇と
天皇の祖先にいた神様を
新しひいていた。ひいと
が今度ばかりの神様が詔記
にひじらひます。私は神
格聖なる、あらわひの木に
大切です。繩文時代以来
の森の力を回復するのに
いつの運動を本格的に
やうじて貯へんりうじ
うどじゅうら。
梅原さん、問題でんか
にいたるやうじゅ。森々無
たりのこころなれりけん
あいたた神様、多いが自然
の神様、森の神様、海の
神様。これをすべて殺し
てこぼこ、そして天皇と
天皇の祖先にいた神様を
新しひいていた。ひいと
が今度ばかりの神様が詔記
にひじらひます。私は神
格聖なる、あらわひの木に
大切です。繩文時代以来
の森の力を回復するのに
いつの運動を本格的に
やうじて貯へんりうじ
うどじゅうら。
哲学者 梅原さん

1000年残る森づくり目標

森が消えてきた。主役の木ではなく、そればかりません。それと間違えなければなりません。木は本物がついてきます。まだ、鎮守の森は枯れても、森のシステムは永久に残ります。手に管理をしない方がいいです。自然淘汰でいいのです。自然淘汰で生き抜く人間が無理に植えたギョウヤマツなどの針葉樹林はつまでも管理が必要で、管理できなければ荒れてしまいます。今山の雑木林を残せばちゃんと言われます。きちんとあります。きちんとあります。

「淘汰、管を梅原さんへ」

神や仏、身近に感じる世界に回帰を 梅原さん

卷之十

梅原
猛吉

文
誌

横濱國大名譽教授

宮脇

昭さん

昭さん



宮脇 昭さん（みやわき・あきら） 1928年、岡山県出身。広島文理科大学卒業。ドイツ国立植生図研究所で潜在自然植生理論などを学ぶ。帰国後、1万数千カ所の植生調査を踏まえて、国内80カ所、海外では、マレーシアやブラジル・アマゾン、中国など500カ所で森づくりを指導。その土地に人々生えていた「ふるさとの木」を使った独自の植樹法を確立した。横浜国立大学教授、国際生態学学会長などを経て現在、同大名誉教授。（財）国際生態学センター研究所長、（財）横浜市緑の協会特別顧問。著書の「植物と人間」で毎日出版文化賞。

いしたい。日本人の文化の原点だと感じさせる教が日本の神教です。梅原さん、鎮守の森うな意味を持ちます。國家神道によって統一です。日本の神道も、国家神道によって統一です。日本のお寺で命されたんですけどね。一つとの源流は同じです。一つの神社にはそれを祀る。道教の寺では、歴史的伝統があったのですが、それを一つの村ます。稻作農耕には一つの神社どころか森が残り、そこに森が残るに統合した。南方熊楠です。ただ、「死んでやる」とか「死んでやる」が入ってから、が死んで抗議をしたが、他の人はまじめに抵抗してしまいますのが、神道の影響がいかに大きくなかった。やはり国家主義的なかに森を守るために、ましました。

実る森づくり目標

森が消えて心も荒れた さん

孫子兵法 十二篇

イエス世界の宗教を研究
かねたかどといふこと
原神道といふべき題
と思ふます。神様が存在
を発見してからです。まことに全部違うの
かが、裏手の森のお面
に、恐ろしくて嫌い
に戦争を行つた。それ
しまった。國民も國家も
「死んでいい」と言
葉は統合されてしまつた
れて戦争を行つた。そ
れはいわば神様の大皇
じう記憶があつます。この神様の神のまゝに海
かが、いなかがれの、命れたどより神田があ
マイナスのイメージが
ったに違ひない。またならず、課税を解くのは
本人の多いが神道こそ
やむなアーチギーを持
つてゐるが当然でしょ
難いのですね。